

2020年1月14日(火)に開催された第7回理事会(定例)の概要をお知らせします。

【決議事項】

●2020年度JVA基本方針

2020年度事業計画の策定に関するJVA基本方針の提案が行われ、賛否を諮り承認可決された。

公益財団法人 日本バレーボール協会
第11期・2020年度事業計画
(2020年4月1日～2021年3月31日)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)がいよいよ2020年7月24日に開幕する。大会に向けて、JVAのガバナンス及びコンプライアンスを更に強化し、スポーツ・インテグリティの向上に努め、バレーボール、ビーチバレーボールの魅力をいかに発揮することに最大限注力する。

また、東京2020大会以降も安定的な事業運営を継続し、バレーボールを愛するすべての国民の心身の健全な発達、維持および人間性の向上に寄与し豊かな社会の形成に貢献することを目指す。

1. 基本方針

2018年10月にキックオフをした、中期経営計画について2018年度、2019年度の業績を反映し、2020年度以降の新たな国際大会計画等を盛り込んだ中期経営計画(修正版)を着実に実行していく。

選手強化事業

- 東京2020大会において、強化策を実行し最大限のパフォーマンスを発揮する
- 2024パリ大会を見据えた強化の推進
 - ・2021年度以降の強化体制の構築
 - ・ユース・ジュニアの育成
 - ・選手の選考システムの構築
 - ・ビーチバレーボールの強化体制の見直し
 - ・バレーボール人口の減少に歯止めをかけ、幼少期から中学世代までの普及・強化体制の構築

スポーツ団体ガバナンスコードの推進

- 協会運営の透明性の推進
- ガバナンス、コンプライアンスの強化
- 組織の厳格な運営

財務改革の推進

中期経営計画の最重要課題の1つでもある財務改革について、2020年度においても収入・費用の両面からの改革を断行する。

- 費用の効率化: 大会経費の削減、東京2020大会以降の強化費用の精査
- 収入増大: 大会収入の増加、新規スポンサーの獲得、グッズ販売

体罰・暴力・ハラスメント根絶に向けた取り組みの強化

体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策委員会と指導普及委員会との連携を強化し、根絶に向けた活動を強化する。

加盟団体との連携強化

加盟団体との更なる連携強化、経営課題の抽出・整理、法人化を推進する。

事業運営の改革

■バレーボールのビジネス化を目指し、そのための指針を策定する。

2020年度以降の新たな国際大会開催計画の策定及び調整

■スポンサー広報(マーケティング・コミュニケーション)、メディア露出の強化

■総合力を最大限発揮できる組織の構築(従来からの仕事のやり方の見直し、業務の効率化等)

会長より下記説明があった。

この事業計画の基本方針に基づき、各事業本部が今年度の計画と予算を現在策定中であり、3月の理事会で提案する予定である。国際大会は、国際バレーボール連盟によって開催自体の見直しの検討が進められており、4年に1度の大会サイクルに変更が生じてくる可能性がある。将来的には、新しい大会スキームの確立が必要であり、その為に、今から国際バレーボール連盟との交渉に力を入れなくてはならない。2020年度のJVA事業として、バレーボールは、VNLと有明アリーナで行われるテストイベントがあり、ビーチバレーボールは、東京と大阪で行われる日本代表決定戦が大きな柱となる。JVAとして、どのように利益に繋がる大会を開催していくかが非常に重要となってくる。

●役員候補者推薦委員会の設置及び委員の選任について

役員候補者推薦委員会の設置及び委員の選任についての提案が行われ、決議結果は下記の通りとなった。

2020年6月開催の定時評議員会終結の時をもって、現監事3名の任期(4年)が満了となる。そのため、次期監事を選任するため、役員候補者推薦規程に従い、役員候補者推薦委員会の設置と委員の選任を行う。

■役員候補者推薦委員会の設置について 承認可決

■役員候補者推薦委員7名の選任について 承認可決

【報告事項】

●2019 年度第 3 四半期職務執行報告

法令及び理事会運営規程に基づき、2019 年度第 3 四半期の職務執行報告が会長及び業務執行理事より行われた。主な報告内容は下記の通りである。

【嶋岡会長】

- ① ワールドカップ 各開催地訪問・大会視察
- ② 広島ピースセレモニー参列
- ③ ビーチバレーボールツアーファイナル視察
- ④ スポンサー各社年末挨拶・御礼訪問
- ⑤ FIVB VNL カウンシルミーティング出席
- ⑥ JOC 加盟団体長会議出席
- ⑦ 新国立競技場内覧会参列
- ⑧ インカレ・JOC カップ開閉会式出席

【鍛冶業務執行理事／事務局長】

- ① 茨城国体バレーボール競技開閉会式出席
- ② 東京 2020 大会進捗報告会出席
- ③ コンプライアンス委員会開催
- ④ テストイベント・キックオフ会議出席
- ⑤ 奈良市長表敬訪問(Vリーグ開幕のご挨拶)
- ⑥ JOC 総務本部会出席
- ⑦ 東海・関東バレーボール連盟理事会陪席
- ⑧ ルイス FIVB 副会長表敬訪問対応

【鳥羽業務執行理事／HP 事業本部長】

- ① 男子ワールドカップ開催地訪問
- ② ビーチバレーボールツアーファイナル閉会式挨拶
- ③ フランス大使館訪問
- ④ 各社スポンサー訪問対応
- ⑤ JOC ナショナルトレセン委員会出席
- ⑥ 男女強化スタッフ／ビーチ選手・スタッフとの打合せ
- ⑦ JOC 東京 2020 強化ミーティング出席
- ⑧ 女子Vリーグ視察

【高野業務執行理事／業務推進室長／指導普及事業本部長】

- ① Vリーグ機構連携会議出席
- ② JOC 環境専門部会出席
- ③ コンプライアンス委員会出席
- ④ 全国6人制リーグ大会実行委員会出席
- ⑤ 体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策委員会出席
- ⑥ スノーバレー検討会開催
- ⑦ 評議員会ワーキング会議陪席
- ⑧ ガバナンスコード説明会参加

【村上業務執行理事／大会運営事業本部長】

- ① 茨城国体出席(鈴木スポーツ庁長官と競技別視察同行)
- ② 青森国体・滋賀国体(ビーチ)正規視察
- ③ 春高バレー役員会出席
- ④ 黒鷲旗大会会計監査立ち合い
- ⑤ 第10回ヴィンテージ8's 交流大会開会式出席
- ⑥ 2020年度ビーチバレーボールツアー説明会実施
- ⑦ 全国ブロック理事長会開催
- ⑧ インカレ・JOC カップ会議及び開閉会式出席

●功労者Ⅱ表彰報告について

表彰委員会委員長の鍛冶事務局長より功労者Ⅱ表彰について下記の通り報告があった。

○第10期(2019年度)第2回功労者Ⅱ表彰者

- ・鬼頭勝政 愛知県バレーボール協会 監事
- ・石川修 群馬県バレーボール協会 参与
- ・浮田豊史 滋賀県バレーボール協会 副会長
- ・飯塚初義 千葉県バレーボール協会 強化委員長
- ・佐々木克之 宮城県バレーボール協会 顧問・理事

なお、理事より、表彰を決定するプロセスの中で体罰・暴力撲滅に関しての観点からの選考は行われているのか。授賞者は他の模範となるロールモデルであって欲しいため、体罰・暴力撲滅等への関心度や取り組みなどを選考基準として重視しても良いのではないかという意見があった。

鍛冶業務執行理事より、現在の表彰基準の項目には含まれていないため、表彰委員会にて推薦要領に反映させることについて検討する旨の回答があった。